

平成 11 年度 S G S T 第 3 回定期研究会 議事録

日 時 : 平成 11 年 9 月 17 日 (金) 15:00 ~ 18:20

場 所 : 創建

出席者 : 安藤 (瀧上工業) 佐賀 (IHI) 岩本 (名古屋工業大学) 宇佐美 (名古屋大学) 貝沼 (名古屋大学) 勝俣 (佐藤鉄工) 加藤 (長大) 加藤 (中日本コン) 櫛田 (帝国コン) 熊田 (創建) 小澤 (建設技研) 近藤 (名城大学) 後藤 (名古屋工業大学) 酒井 (トピー工業) 塩見 (中部大) 柴田 (大日コン) 玉腰 (東洋技研コン) 中根 (オリコン) 宮下 (日本電算) 森 (名古屋高速) 山田 (名古屋大学) 渡辺 (オリコン) 以上 22 名

1. 議事録の確認

前回の議事録を一部修正し、承認された。

2. 講演

1) Research and Application of Bridge Monitoring System in Taiwan (Prof. Chang)

台湾における橋梁モニタリングシステムの研究と応用に関して、Bi-Tan 橋の事例、Taipei MRT Chien-Tan 駅吊り形式屋根の事例、および構造モニタリングのための光ファイバーセンサーの開発について紹介された。

Bi-Tan 橋は橋長 800m のコンクリート橋で、中央径間部は 160m のアーチ橋である。この橋の静的および動的な挙動を、メイン観測所 (国立台湾大学) とローカル観測所との定期的なモニタリングにより、解析モデルの検証、構造診断システムを用いた損傷評価などを行っている。

2) Bridge Management In New York City:

History, Planning, Rehabilitation, Maintenance, Inspection. (Dr. Yanev)

土木学会の招聘により来日されたヤヌフ博士 (ニューヨーク市職員、コロンビア大学教授) より、ニューヨーク市・イーストリバーの橋梁群の維持管理に関するスライドを交えながら、ライフサイクルコストを考慮した橋梁マネジメントシステムについて説明された。

定期研究会終了後、Chang 教授、Yanev 博士も参加され、懇親会が行われた。

(18:30 ~ 20:30、サイプレスガーデンホテル 3F パルティール; 名古屋市熱田区金山町 1-9-8)

3. 次回の研究会

日時: 平成 11 年 10 月 19 日 (火)

場所: 創建

-
- ・ 会費納入のお願い
 - ・ 案内の E-mail 化